

尾道市の行政執行は市民のくらし第一で - 決算審査に岡野・三浦議員が臨みます -



日本共産党
市議会議員団
週刊議会報告
【発行】
岡野長寿
(0845-22-2596)
三浦とおる
(0848-48-5044)

10月8日(10日まで)2018年度の予算執行を審査する決算特別委員会が行われます。共産党議員団は、「市民のくらし第一」という視点から審査を行い、新年度予算に反映できるようなごんばりします。現時点までに入手できた資料から、質問予定項目の一部を掲載します。

市民生活の困窮を表す個人市民税の減

個人市民税(調停額)は63億2,958万5千円で前年度より4,951万5千円(0.8%)減少。法人市民税(調停額)が一部企業の業績好調により、1億9,814万7千円(11.0%)増加し、20億336万7千円となっているのと対照的です。

個人市民税が減少していることは市民の収入が増えていることを意味し、その背景には安倍政権の失政があるのではないかと質します。市民のくらしを支える施策展開が求められます。

増える民間委託(私立保育所等が約7割に)

「民生費では私立認定子ども園運営費負担金などの増加(平成30年度「主要な施策の成果」から)との記述から、調べてみると、保育所等の民間委託が急激に増えており、この3年間で施設数では私立が58%から67%を占めるようになりまし

保育所・認定子ども園などの数

年度		施設数	定員(人)
28	公立	13	1440
	私立	18	1626
29	公立	13	1440
	私立	22	1722
30	公立	13	1440
	私立	25	1829

正規職員数は前年度1,040人から1,050人へと減少。臨時や嘱託職員で補っている

正規職員削減、非正規職員増はいいことか?

基金合計額は1億9,000万円増えて193億6,800万円になっていますが、監査意見書では「設置目的に沿って活用されたい」と言うだけで10年前と比べ

みうら君の生活一口メモ 身近な生活問題を皆さんと一緒に考えます

皆さんお元気ですか。まだまだ、蒸し暑い日が続いていますね。健康には気を付けてください。今週は、悩めるお母さんからの質問です。スマートフォンについての質問です。皆さんはスマートフォンをお使いでしょうか?お使いでない方も知っていらつしやると思います。みんな考えていきましょう。

本日の問題
高年生の子どものスマートフォンを欲しがっています。学校の校則でも持ち込みが可能なようになるようです。

うーん、とても難しい問題ですね。正確な数値ではありませんが高年生の8割は所持しているようです。そこで本日の問題ですが、みんなが持っているから持たせるというのも教育的配慮ではない気もします。

みうら君も悩みます。今ではツイッター・ライン・インスタグラム等のコンテンツは、若者のコミュニケーションツールとして定着していきましょ。様々な危険性も報告されております。来週は皆さんと一緒にスマートフォン課題と現状を考えていきたいと思います。

国保の制度が大きく変わった18年度

監査意見書には「国民健康保険料の収納率が84.0%(前年度0.4ポイント減)」と悪化していることをあげ、収納率の確保に努められたい」と指摘しますが、「年齢構成が高く」所

得水準が低く、保険料負担が重い構造的な問題をかかえている」と認識しながら、尾道市がなぜ保険料の軽減に踏み込まないのかの指摘があります。この点を質します。

議会日程

- 10月 8日(火)決算特別委員会(一般会計)
 - 10月 9日(水)決算特別委員会(一般会計)
 - 10月10日(木)決算特別委員会(特別会計等)
- 是非、傍聴にお越しください。よろしくお願ひします。